

第6学年3組社会科学学習指導案

日時 平成28年11月1日（火）

場所 6年3組 教室

- 1 単元名 日本史
小単元名 新しい日本、平和な日本へ
- 2 小単元について

（1）児童の実態

本学級の児童は、学習意欲が高い児童が多く、集中して教師や友達の話の話を聞いたり、ノートに丁寧にまとめたりしている。6年生という発達段階もあり、自分の考えを言葉で表現することは消極的であるが、ノートには短いながらも根拠を示しながら書くことができる児童が多い。社会科の学習については、教科書、資料集を中心に学習問題について調べることができるが、調べが一面的である児童が多い。資料活用の能力については、統計資料は数値に注目して変化を読み取ることができるが、複数の資料を関連付けて社会的事象について考えたり、年表の背景にある出来事を考えたりすることは難しいようである。思考力については、社会的事象を理解し、自分の考えをノートにまとめることができるが、話し合いの場面では、自分の考えの根拠を明確にして論を述べることができる児童は少ない。

児童たちは、明治維新以降の歴史の学習において、「不平等条約を背景に政府は富国強兵の政策を推し進めてきたこと」「欧米諸国に対抗するため、国益の確保のために戦時体制に移行したこと」について、資料を中心に問題解決的な学習をしてきた。

（2）教材観

本単元は、平成23年度施行の学習指導要領の次の目標及び内容に基づいて設定した。

- | |
|---|
| 目標（1）国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育てるようにする。 |
| （3）社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。 |
| 内容（1）我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。 |
| ケ 日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。 |

(3) 指導観

平成28年8月1日に、中央教育審議会特別部会から、2020年度から完全実施される次期学習指導要領の方向性が示された。そこで以下に抜粋する。

■改定の基本方針

グローバル化の進展や人工知能（AI）の飛躍的な進化など、社会の加速度的な変化を受け止め、伝統や文化に立脚した広い視野をもち、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を確実に育む学校教育を実現。持続可能な開発のための教育（ESD）等の考え方も踏まえつつ、これまでの中心であった「何を学ぶか」という指導内容の見直しに加え「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」の視点から改善。「学びの地図」として示す。

学校教育を通じてどのような資質・能力が身に付くのかを、以下の三つの柱に沿って明確化。

- ①生きて働く「知識・技能」の習得
- ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
- ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養

「学び」の本質として重要となる「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善の視点が「アクティブラーニング」の視点。

改定の基本方針と、東部教育事務所主催・社会科エキスパート授業の趣旨を捉え、本小単元の指導観を以下のようにもつ。

「何を学ぶか」

- 日本国憲法の制定 ○戦後改革 ○国際社会への復帰 ○東京オリンピック開催
- GNPの向上 ○国民生活の向上 ○環境問題

→民主的な国家となったこと、国際社会に貢献したこと、国民の不断の努力があったこと

「どのように学ぶか」

- 写真、統計、年表などの資料の活用 ○ICTの活用 ○ゲストティーチャーの話
- ジグソー活動（個人に対し異なる課題を与え、互いの学びを交流し合うことで深い思考へつなげる）

「何ができるようになるか」

- 我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情をもつこと
- 現在の自分たちの生活や国家・社会の発展の基盤がどこにあるのかを考えること
- 過去のできごとを現在および将来の発展に生かすことを考えること
- 他者と協働して主体的に学ぶこと
- 関係図、ミニ新聞、年表、意見文など、様々な形で学習の成果を表現すること

本小単元は、小学校の歴史学習のまとめとなる小単元である。これまで児童は、人物の働きや代表的な文化遺産を中心として学習してきたが、本小単元では、太平洋戦争後は民主的な国家となった経緯と、それに伴った国民生活の変化を学習する。そこで、児童にとって捉えやすい資料を「つかむ」過程で扱い、興味・関心を高める。そして当時の国民生活を想起させながら、政治の理念と、国民の不断の努力、国家の発展していく様子について調べる学習計画を立てる。また「調べる」過程では、東京オリンピック当時の様子について、ゲストティーチャーに話を伺ったり、国民生活の変化について家庭学習としてインタビューをさせたりして、単元を通して常に自分事として捉えることができるよう、学習を展開していきたい。

(4) 本小単元の知識の構造図

○内の数字は、時間を表す

[学習指導要領との関連]
○第6学年の目標(1)
○内容(1)
我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。
ケ 日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。

【中心概念】
戦後我が国が民主的な国家として出発し、国民の不断の努力によって国民生活が豊かになり国際社会においても重要な役割を果たしてきたこと。⑥



3 小単元の目標と評価規準

(1) 小単元の目標

○日本国憲法の制定、オリンピックの開催など、我が国の戦後の歩みを調べることを通して、戦後、我が国が民主的な国家として出発し、国民の不断の努力によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かるとともに、平和で民主的な国家・社会の形成者の一員として、これからの日本の課題やよりよい発展について考えようとする。

(2) 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
①我が国の戦後の歩みに関心をもち、進んで調べようとしている。 ②平和で民主的な国家の一員として、日本の課題やよりよい発展について考えようとしている。	①我が国の戦後の歩みについて、学習問題や予想、学習計画を立てている。 ②戦後改革や産業の発展などについて調べたことを比較・関連・総合して、戦後、我が国が民主的な国家として出発したことなどを考え、言語で適切に表現している。	①地図や年表、家族の話、ゲストティーチャーの話、写真資料、図書などを活用して、必要な情報を集め、読み取っている。 ②調べてわかったことを、統計や年表や図を用いて、ノートにまとめている。	①戦後、我が国が民主的な国家として出発して、国民の不断の努力によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解している。 ②戦後から現在までの、国民生活の移り変わりを理解している。

4 指導計画と評価計画

(1) 単元構成

新しい日本、平和な日本へ（7時間）…本小単元

(2) 本小単元の指導計画と評価計画（7時間扱い） ○内の数字は、時間を表す。

	学 習 活 動・学 習 内 容	学習活動に即した評価規準 〈 〉 評価方法
つ か む	①（本時） 戦前と戦後の国民生活の様子を比較し、年表と関連付けて、当時の社会の変化を予想する。 ・焼け野原の東京と、オリンピック開催時の東京の写真を比較し、当時の様子をつかむ。 ・各種の資料から、戦前と戦後の国民生活の変化について調べる。 ・調べたことを伝え合い、関連付けて学習問題をつくる。	関 我が国の戦後の歩みに関心をもち、進んで調べようとしている。 〈態度〉 思 我が国の戦後の歩みについて、学習問題や予想、学習計画を立てている。 〈ノート、学習計画〉
学習 問題	戦後の日本は、どのような出来事があり、どのように変わっていったのでしょうか。 ・学習計画を立てる。	

調 べ る	<p>② 戦後改革、日本国憲法の3つの原則について調べ、平和で民主的な国家として出発したことを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦前との違いを踏まえて、図にまとめる。 	<p>思 戦後改革について調べたことを比較・関連・総合して、戦後、我が国が民主的な国家として出発したことなどを考え、言語で適切に表現している。 〈ノート〉</p>
	<p>③ 日本が国際社会へ復帰する経緯を、諸外国との関係も含め調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際連合への加盟に至るまでの経緯を調べ、関係図にまとめる。 	<p>技 年表や写真資料、資料集などを活用して必要な情報を集め、読み取り、関係図にまとめている。 〈ノート〉</p>
	<p>④ 東京オリンピックの後の日本が、さらなる高度経済成長を遂げたことを調べる。また産業の発展とともに公害が起こったことを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長の功績と問題を、ミニ新聞にまとめる。 	<p>知 高度経済成長の中、国民の不断の努力によって国民生活が向上してきたことを理解している。 〈発言・新聞〉</p>
	<p>⑤ 震災からの復興や領土、人権、社会保障など、これからの日本が解決すべき課題について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を1つ選び、政治への提言を出し合う。 	<p>関 平和で民主的な国家の一員として、日本の課題やよりよい発展について考えようとしている。 〈話し合いの様子・ノート〉</p>
ま と め る	<p>⑥ 調べてきたことを、重要語句を用いて年表にまとめ、一言コメントを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習問題の答え</p> <p>戦後改革によって、日本は平和で民主的な国家となった。国民の不断の努力によって国民生活が豊かになり国際社会においても重要な役割を果たしてきた。</p> </div>	<p>知 戦後から現在までの、国民生活の移り変わりを理解している。 〈発言・年表〉</p>
い か す	<p>⑦ 歴史上の人物や文化遺産を振り返り、当時の人々の努力や工夫、願いについて再考する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史を学ぶ意味について考え、意見文を書く。 	<p>関 よりよい日本の歴史をつくっていく一員として、歴史の学習を自分たちの生活やこれからの日本の発展に生かそうとしている。 〈発言・意見文〉</p>

5 本時の学習指導（1／7時）

（1）目標

戦前と戦後の国民生活の様子を比較し、年表と関連付けて、当時の社会の変化について学習問題をつくり、学習計画を立てる。

（2）評価

○我が国の戦後の歩みに関心をもち、進んで調べようとしている。（関心・意欲・態度）

○我が国の戦後の歩みについて、学習問題や予想、学習計画を立てている。（思考・判断・表現）

(3) 展開 「指導と評価の工夫」の【評】、→は、目標にかかわった評価と支援を表す。

学習活動	学習内容	指導と評価の工夫	資料・準備	時
1 前時まで学習した時代を振り返る。	○国益の確保のため、戦時体制に移行したこと ○国民や諸外国が大きな被害を受けたこと		年表 写真資料	2
戦後の日本が変わっていく様子について調べ、学習問題をつくりましょう。				
2 焼け野原の東京と約20年後の東京の写真を比較する。	○進化していく新宿の街 ・産業の発展の様子 ・国民生活の向上	・着目点を示しながら発表させる。 【評】我が国の戦後の歩みに関心をもち、進んで調べようとしている。【関】<態度>	写真資料 年表	15
3 各種の資料について調べ、当時の社会の変化について知る。	○戦後の食糧難 ・国民の努力によって乗り越えたこと ○民主化 ・国民生活に自由と平等がもたらされたこと ○平和主義 ・戦争の世の中は終わったこと	・児童にとって考えやすい、国民生活に絞った資料を調べさせる。 ・資料を選択する際には、難易度や関心を含めて分担を話し合い、決めさせる。 ・戦前と戦後の写真資料の比較だけでなく、年表や文章などからも調べられるようにする。	写真資料 統計 年表	10
4 グループになり、自分の調べた資料について読み取ったことを紹介し合い、社会の変化を予想する。	○複数の事象を関連付けて、国民生活の変化を予想すること ○政治や産業の発展など、社会的背景を予想すること	・ジグソー活動を用いることで、どの児童も主体的にグループ活動に参加できるようにする。 ・OHCを活用し、グループで出たキーワードを学級全体で共有し、学習問題へとつなげる。		15
5 学習問題をつくる。	○時代を大観し、学習問題をつくる	【評】 我が国の戦後の歩みについて、学習問題や予想、学習計画を立てている。		3
6 学習計画を立てる。	○戦後改革 ○日本国憲法3つの原則 ○国際社会への復帰 ○東京オリンピック ○高度経済成長	【思】 <ノート・学習計画> →自分なりの学習問題をつくった児童については、小単元で学びたいキーワードについて考えさせ、計画に結び付ける。 →書けていない児童には、本時の学習で特に印象的だったことを挙げさせ、疑問へとつなげさせる。		7
7 本時の振り返りをする。	○国民生活の向上			2

(4) 板書計画

